Ver.2401.1
初版：2023年8月 1日
改訂：2024年1月15日

FULL HEIGHT DOOR®

STEALTH MODE ステルス枠
フルハイトドア®

# 施工手順書⑦-2

# カエサル(CAESAR)

## アウトセット片引き戸(上吊)

### ステルス枠 施工手順書一覧

**共　　通**

※シリーズ専用以外の共通編の施工手順書は工事内容別で下記の①、②、③に分かれています。
※マルコシリーズの2･3枚引違い戸(上吊)、2枚引込み戸(上吊・連動)は共通編をご覧ください。
※本書の準耐火仕様とは、ご注文の際に当社の「準耐火仕様」を選択した場合に限ります。

| | |
|---|---|
| ①木工事 | ①-1.ステルス枠・標準仕様 ／ ①-2.ステルス枠・準耐火仕様<br>①-3.インセット枠仕様 |
| ②クロス・塗り壁工事<br>(ステルス枠・インセット枠共通) | |
| ③扉・金物の取付<br>(ステルス枠・インセット枠共通) | ③-１. 開き戸 |
| | ③-２. 片引き戸(上吊)、ポケット戸(上吊)、２枚引違い戸(上吊) |
| | ③-３. ２・３枚引込み戸(上吊・連動)、３枚引違い戸(上吊・連動/非連動) |
| | ③-４. 片引き戸(床付レール) |

**シリーズ専用**

※シリーズ専用の施工手順書(④~⑨)は木工事、クロス・塗り工事、扉・金物の取付が一式含まれます。

| | |
|---|---|
| ④クローゼット | ④-１. 折れ戸　④-2. 物入片開き戸、両開き戸、物入４枚･６枚連続開き戸 |
| | ④-3. スライド片開き戸 |
| ⑤オートマチックドア | ⑤-１. 片引き戸(上吊)、片開き戸 |
| ⑥ヴェトロ・ミラノ | ⑥-１. アウトセット片引き戸(上吊)　⑥-2. 開き戸 |
| ⑦カエサル | ⑦-１. スイング戸、両スイング戸、サイドガラスユニット |
| | ⑦-２. アウトセット片引き戸(上吊) |
| ⑧マルコ | ⑧-１. 3枚引込み戸(上吊・非連動)　⑧-2. 2枚引分け戸、4枚引違い戸(上吊) |
| ⑨フィット | ⑨-１. スイング戸　⑨-2. 片引き戸(上吊)、2枚引違い戸(上吊)、2枚引分け戸 |

kamiya

# 施工を担当される方へ

## 安全のために必ずお守りください

## ⚠注意

### ● 施工前にこの手順書をよく読み、正しく施工してください

○ 枠･下地枠の取付は、水平･垂直･ねじれがないかを必ずご確認し、確実な固定を行ってください。
○ 本製品の組み立てで付属ビスがある場合には、必ずそのビスを使用してください。
付属ビス以外で取り付けた場合、部材の脱落や枠のゆるみ等が発生する恐れがあります。

### ●ケガや事故防止のため、以下の事項を必ずお守りください

○ 風の強い場所では開き戸が強く閉まるなどして手をはさむ恐れがありますので
扉を開け放しにしないようご注意ください。

○ 運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、扉建て付け時には十分気をつけて行ってください。

### ● 施工前及び施工時の確認

○ 本製品は屋内用ですので、屋外や水がかりする箇所には使用しないでください。
○ 本製品は内装扉を用途とする商品です。他の用途として使用したり、本手順書と異なった
施工をした場合の保障は当社では責任を負いかねます。
○ 高温･高湿の環境条件では使用できません。
○ 施工前に部材の数量･キズの有無をご確認ください。
施工後のキズについては当社では責任を負いかねます。
○ 部材を保管する場合は湿気･直射日光を避け、十分な養生をしてください。
○ 開口部または枠の寸法を測り、躯体または枠が正確に施工されているか、
ご用意の扉サイズが適切かどうかご確認願います。
○ 施工時に電動ドライバーを使用する場合は、カラモミを防ぐため最後の締め付けは
必ず手締めにて行ってください。
○ 扉の調整の際には、電動ドライバーは絶対に使用しないでください。
ビス類が破損し、調整できなくなることがあります。
○ 扉や枠の表面に、長時間テープを貼らないでください。汚れ･破損･色ムラの原因になります。
また、突き板塗装ドアの場合、塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。

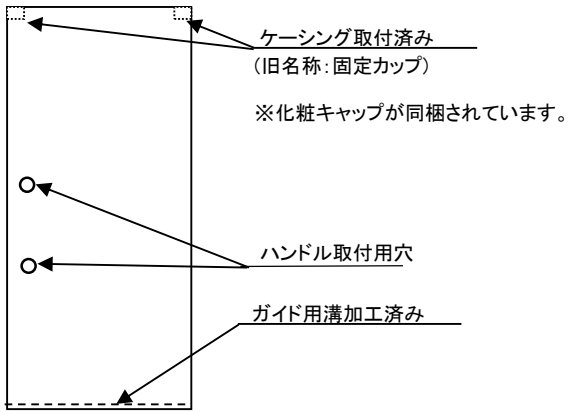
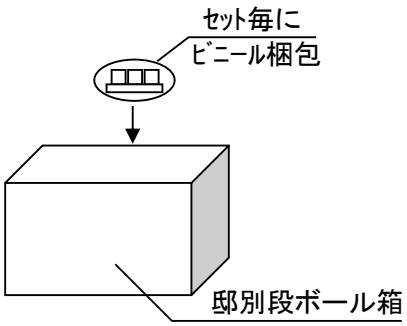
### ● 施工後の処理

○ お施主様への引渡し前に、工事管理者が必ず点検を行い、不具合箇所を補修してください。
○ 施工後はキズが付かないように養生してください。
このとき、表面にテープを直接貼らないでください。
また、突き板塗装ドアの塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。
○ 清掃の際は水を固く搾った布で汚れを落とした後、柔らかい布で乾拭きしてください。
また、汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とした後、
洗剤が残らないようによく拭き取ってください。
○ 内装工事が終了するまでの間は、扉をはずして保管されることをお勧めします。

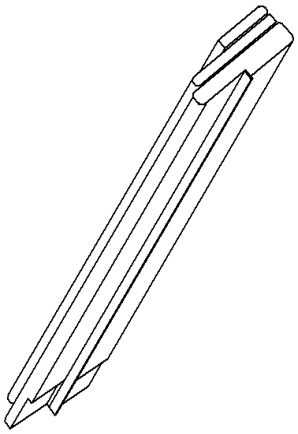
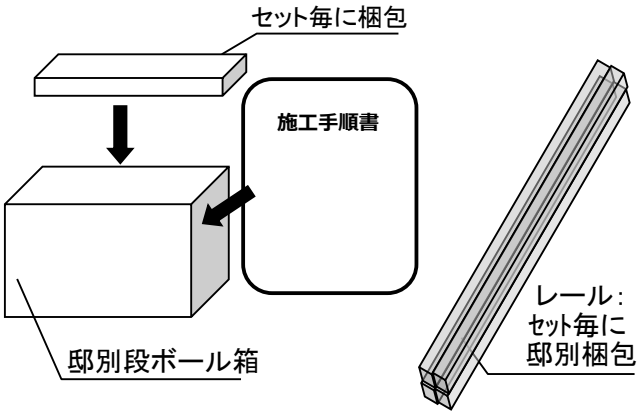
Ikamiya
Full Height Door

# □納品形態

## 扉と同時に納品されるもの

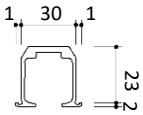
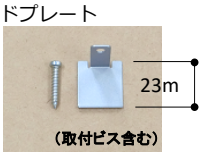
| 建具 | 建具金物箱 |
| --- | --- |
|  |  |

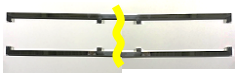
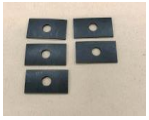
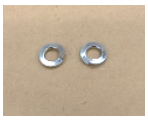
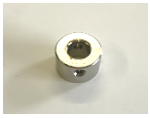
## 下地枠と同時に納品されるもの

| 下地枠 | 下地金物箱とレール |
| --- | --- |
|  |  |

（注意）
フィットの扉重量は最大約55kgです。
・扉を運ぶ時、吊り込む時の角当て等、取扱いには十分ご注意ください。
・重量扉専用の上レール、上ローラーを使用しております。
　他シリーズの上レール、上ローラーとは互換性がございません。

# □金物箱の梱包内容

| 下地金物箱 | アウトセット<br>片引き戸(上吊)<br>エンド枠無 | アウトセット<br>片引き戸(上吊)<br>エンド枠付 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 上レール<br>  <br><br>取付ビス(皿タッピングビス3.5×35×1袋14本入り) | 1本 | 1本 | | | | |
| | ※※※取付ビスは「デュアルソフトクローザー & 上ローラー」の 梱包箱 にセットされます※※※ | | | | | |
| デュアルソフトクローザー & 上ローラー<br> | 1セット | 1セット | | | | |
| トリガー<br> <br>（取付ビス含む） | 1セット | 1セット | | | | |
| エンドプレート<br>  <br><br>（取付ビス含む） | 2個 | 2個 | | | | |
| スパナ<br> | 1本 | 1本 | | | | |
| 床付ガイド<br> <br>（取付ビス含む） | 1個 | 1個 | | | | |
| バンパーブロック<br> | 2個 | 1個 | | | | |
| 下部戸当たり<br> <br>（取付ビス含む） | 2個 | 1個 | | | | |
| 壁付ガイド<br>（別売）<br> <br>（取付ビス含む） | 1個 | 1個 | | | | |
| 調整ビス【標準】<br> <br> <br>ｺｰｽｽﾚｯﾄﾞビス【準耐火】<br> | – | 14本 | | | | |

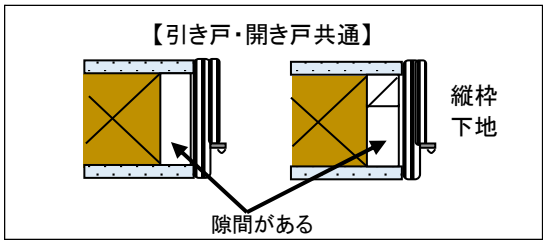
| 建具金物箱 | | | |
|---|---|---|---|
| ハンドル種類 | GC/GDタイプ | GEタイプ | GH/GKタイプ  |
| ステンレスプレート | 4ヶ | ー | 4ヶ |
| ゴムパッキン  | 5ヶ<br>（予備1ヶ） | 2ヶ | 9ヶ<br>（予備1ヶ） |
| スプリングワッシャー  | 2ヶ | 2ヶ | 8ヶ |
| ビス<br>（M6×80） | 2本 | 2本 | 4本 |
| コロ  | ー | 2本 | ー |

# □開口部の確認

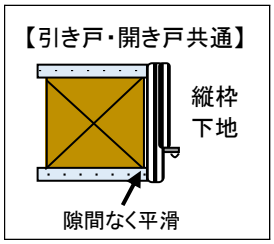


## 開口部(躯体側木下地)の確認　　共　通

下地枠を取り付ける前に、躯体側に木下地が隙間なく平滑に入っているか確認をしてください。

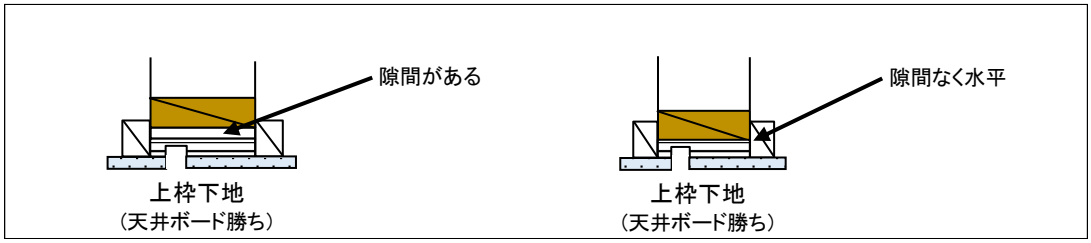



×




○

下地枠の裏側部分には必ず木材を全面に入れておいてください。



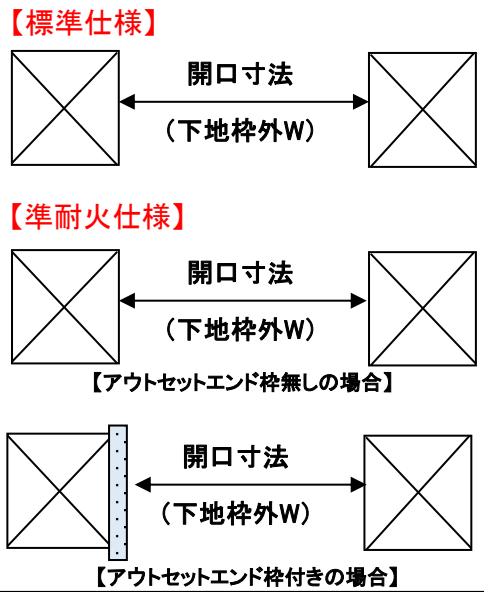

×　　○

**ポイント**

**※躯体側の木下地（柱・まぐさ等)の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。**
**※上枠下地が無い納まりの場合でもクロスのヨレ・ヒビを防ぐために木下地は隙間なく平滑に入れてください。**

## 開口部(寸法)の確認　　共　通

下地枠を取り付ける前に、開口部の巾・高さ寸法を確認してください。




【巾寸法】
開口寸法（＝下地枠外W）

【高さ寸法】
上枠下地がある場合

**ポイント**

**※開口寸法は邸別の納まり図でご確認ください。**
**※納まり図の高さ寸法はF.L(床仕上げ面)からの寸法となっているので注意してください。**

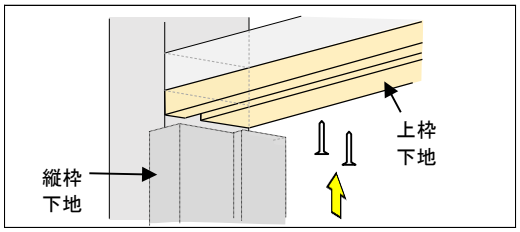
# □上枠下地

forステルス【標準仕様】

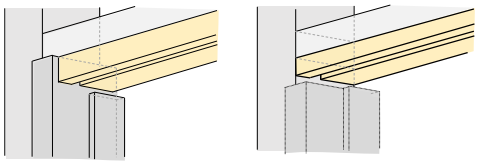
施工手順書2024/1改訂

## 上枠下地の取付【天井高納まり】　引き戸(上吊)共通

上枠下地を接着剤・取付ビス(現場手配品)併用で躯体側木下地に固定します。(縦枠下地勝ち)
その際、上枠下地の裏側には30㎜以上の木材を入れてください。



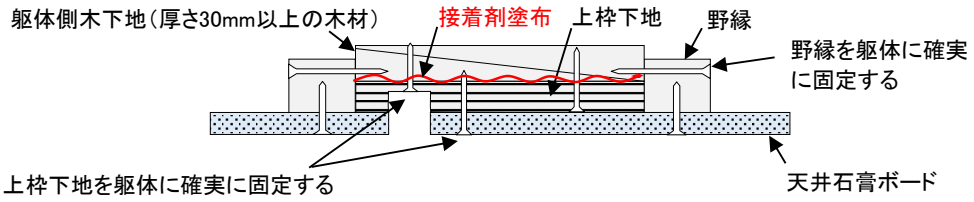

**天井ボード勝ち納まり【標準仕様】**
上枠下地裏面に接着剤全面塗布(推奨：酢ビ系)



【縦枠勝ち】　→　【上枠勝ち】

※2023vol2カタログより、引き戸(上吊)上枠下地は「縦枠勝ち納まり」から「上枠勝ち納まり」へ変更になり、上枠長さはw下地枠外寸法で納品されます。

**天井ボード勝ち納まり【標準仕様】**



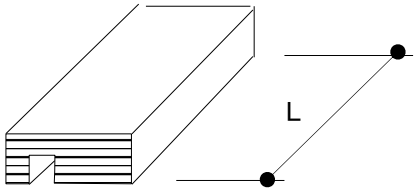

天井石膏ボードを固定する野縁材と上枠下地は躯体側木下地にしっかりと固定してください。
しっかり固定されていないと、クロスのヒビ、ヨレ、ヒビの原因となります。

2023年vol2カタログより、引き戸の上枠長さはw下地枠外寸法となり、縦枠負けの納まりとなります。

**ポイント**
- **※縦枠下地、及び片方立下地の天井のみ込み部分は、ボードの厚み部分の欠き込みを行ってください。**
- **※上枠下地の取付にはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、下穴を空け、レールビスと干渉しない位置てビス留めしてください。**
- **※上枠下地枠取付後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。**
- **※上枠下地の裏側には、必ず30㎜以上の木材を入れてください。**

## 注　上枠下地の長さ(共通)、アウトセット片引き戸の上枠下地の取付向きと取付位置

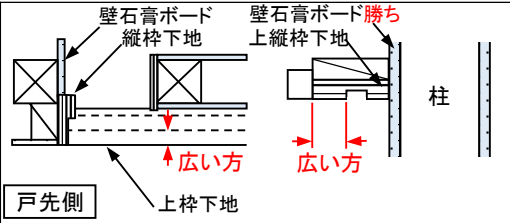
上枠下地の長さについて



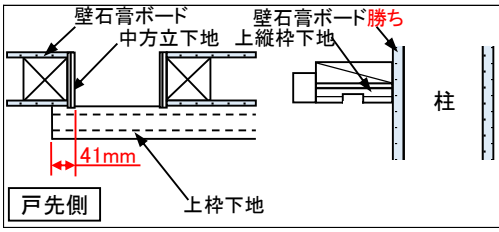

**2023年vol2カタログより、引き戸の上枠長さはw下地枠外寸法となり、縦枠負けの納まりとなります。**

上枠下地はL＝2421mm以上の場合は２分割で納品

アウトセット片引き戸の上枠下地の取付向きと取付位置について




**【アウトセット片引き戸エンド枠付きの場合】**
上枠下地の向きに注意(広い方が外側)




**【アウトセット片引き戸エンド枠無しの場合】**
上枠下地の位置に注意(中方立下地内から41mm)

**ポイント**
- **※アウトセット片引き戸の上枠は壁石膏ボード勝ちで納めます。**

# □中方立下地

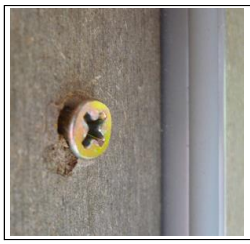
forステルス【標準仕様】
施工手順書2024/1改訂

## 中方立下地の取付

【注意】
接着剤・取付ビス(現場手配品)併用にて躯体に固定します。

裏面に接着剤全面塗布(推奨：酢ビ系)

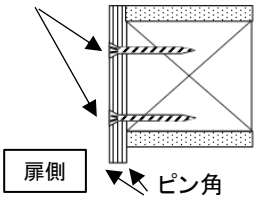
下地表よりビス固定



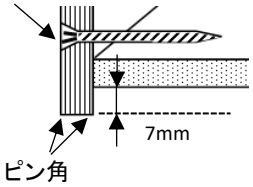
ビス頭の飛び出し
×

○

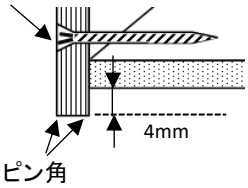
【ｱｳﾄｾｯﾄ片引き戸】
壁厚に対して扉側に7㎜（塗り壁時4㎜）のチリが出ます。




チリが出る側(扉側)にピン角を向ける




**【クロス仕上の場合】**
壁厚より7㎜チリが出る

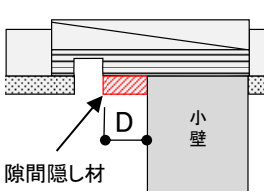


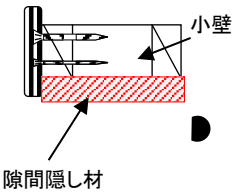

**【塗り壁仕上の場合】**
壁厚より4㎜チリが出る

**ポイント**
**※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス留めしてください。**
**※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。**

## 隙間隠し材の取付【天井高納まり】

上枠下地のレール溝と小壁の間に隙間隠し材を現場で正寸にカットして取付てください。

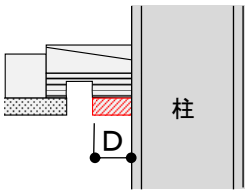
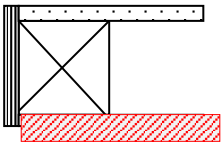



戸尻側

上枠下地のレール溝と小壁の間に
隙間隠し材を取りつける

## 隙間隠し材の寸法一覧

| 開閉様式別 | | クロス仕上げ | |
|---|---|---|---|
| ・ｱｳﾄｾｯﾄ片引き戸 |    | D=22.5mm | |

# □縦枠下地

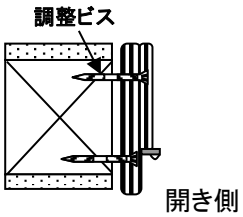
forステルス【標準仕様】

施工手順書2024/1改訂

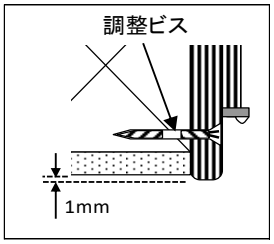
## 縦枠下地の取付　　エンド枠付き

縦枠下地を壁厚(柱)の中央にあてレーザー等で立ちを見ながら、同梱の調整ビスで取付けてください。

**※クロス・塗り壁で仕上げますのでビス頭の飛び出しは厳禁です。**




調整ビスにより枠を固定




縦枠下地の見込寸法は壁厚+1mmずつのチリ

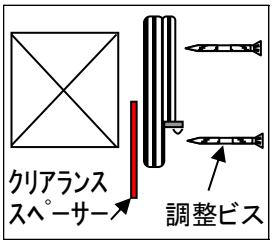
調整ビス頭の飛び出し

×

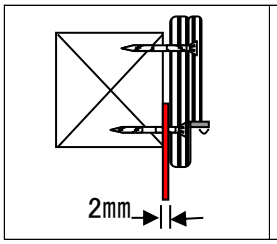
○

取付の際に、クリアランススペーサー(調整ビスに同梱)を柱と枠の間に入れながら、調整ビスを締めてください。

**※柱と縦枠下地のクリアランスは2㎜が標準設定です。**




クリアランス
スペーサーを挟む



２㎜のクリアランスを保ち調整ビスで取付

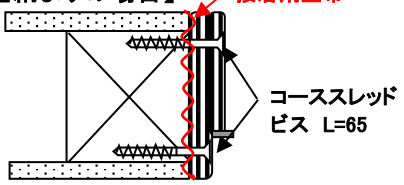
縦枠下地の下部裏側に
２㎜厚パッキン材取付済

**【注意事項】**

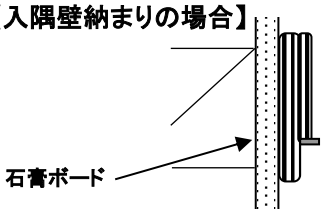
縦枠下地を含む全ての下地枠を取付け後、縦枠下地の調整と固定をする必要があります。

**準耐火の場合**

**【袖壁納まりの場合】**




**【入隅壁納まりの場合】**

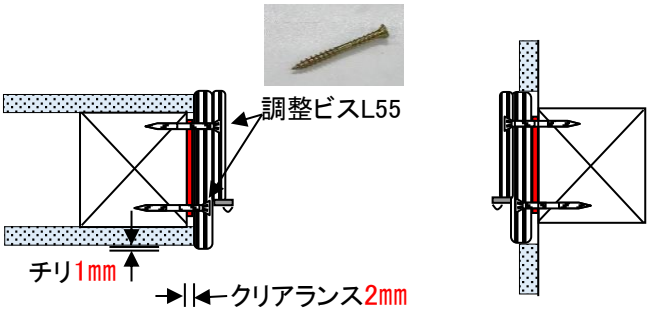



**ポイント**

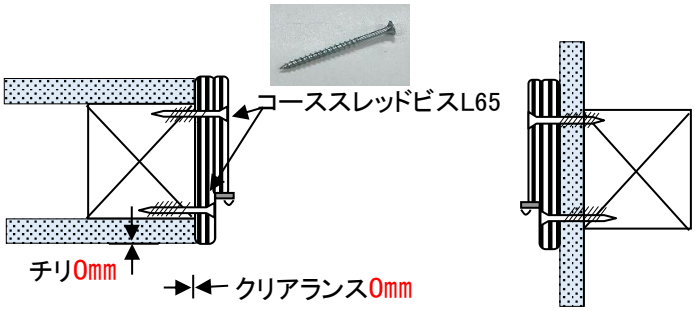
**※縦枠下地の下部裏側にあらかじめ２㎜のパッキン材がついてますので、枠内寸法が確保できない場合以外は外さないでください。**
**※クリアランススペーサーが抜けない場合は、手動ドライバーにて少しゆるめてから外してください。**
**※躯体がスタッドの場合は、調整ビスが効かないため、縦枠下地とスタッドの間にを必ず木下地（15㎜以上）を入れてください。**
**※調整ビスを何度も出し入れすると、ビス穴が広がり、調整が効かなくなりますので、その際は別の所で再度、固定してください。**

## 注　「標準仕様・壁石膏ボード12.5mm」と別冊「準耐火仕様・壁石膏ボード厚15mm」との違い

【標準仕様】入隅部は壁石膏ボード負け




別冊【準耐火仕様】入隅部は壁石膏ボード勝ち

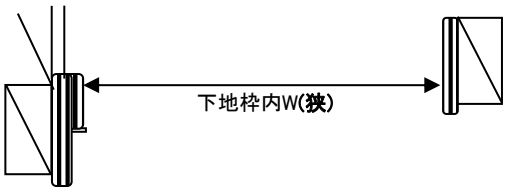


# □縦枠下地



## 縦枠下地の調整　　エンド枠付き

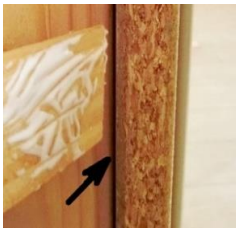
全ての下地枠を取付けた後、下地枠内W寸法を確認してください。調整が必要な時は、手動ドライバーを使用し調整ビスで縦枠下地の出し入れを行ってください。

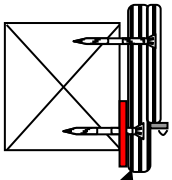



開口を確認
<アウトセット片引き戸(エンド枠付き)>

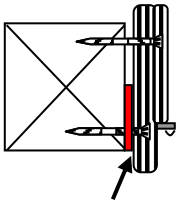
## 縦枠下地の固定　　エンド枠付き

取付・調整後、縦枠下地と柱の間にクサビ、又はパッキン（現場手配品）を接着剤併用(表裏塗布)にて差込み、縦枠下地が動かないようガッチリ固定してください。





柱面からクサビ等が飛び出している



柱面からクサビ等が飛び出していない

**クサビ**又は**パッキン**に接着剤を塗布し縦枠下地と柱をガッチリ固定（クロス・塗り壁のヒビ割れ防止策）

✕　　○

**ポイント**

**※ウォールスルーが並列する場合など、取合により調整ビスが貫通してしまう恐れがある場合は、別途ビス(現場手配品)で取付けてください。**
**※クサビ・パッキンの差込は、ビスとビスの間に入れてレーザー等で立ちを見ながら行ってください。**
**※クサビ・パッキンが柱面から飛び出していると、石膏ボードの取付ができないので、柱面から飛び出さないようにしてください。**

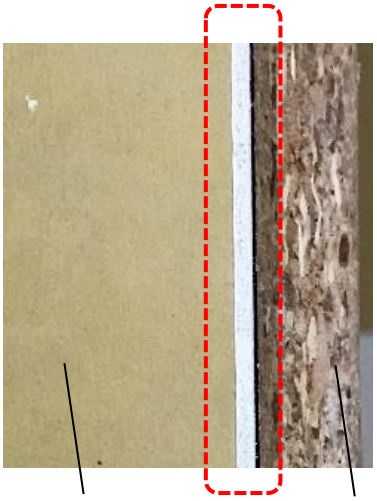
# □石膏ボード・シンプル幅木の取付

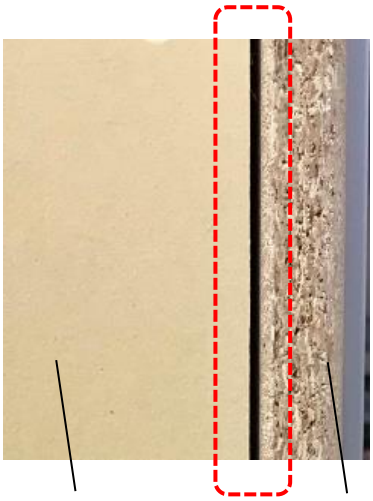
forステルス【標準仕様】
施工手順書2024/1改訂

## 石膏ボードの取付け時の注意点

枠に突き付ける石膏ボードは面をとり、枠との間に隙間が出ないよう石膏ボードを取付けてください。

**【注意事項】**
クロスや塗り壁の仕上がりに影響がでる恐れがありますので必ず守ってください。

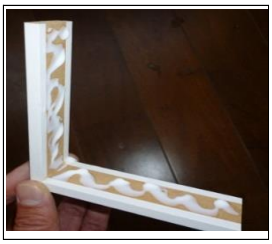


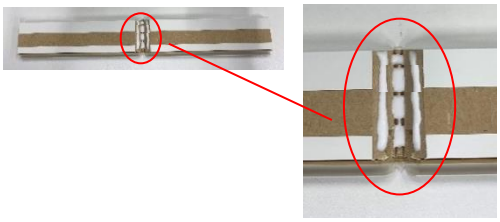

| | | | |
|---|---|---|---|
| **枠と石膏ボードの隙間無し** | ○ | **枠と石膏ボードの隙間有り** | × |
| **石膏ボードの面取有り** | ○ | **石膏ボードの面取無し** | × |

## シンプル幅木コーナー役物・取付け時の注意点

枠の取付・調整、及びクサビ、またはパッキンの固定が終わったら、幅木を接着剤で縦枠下地の下部の切欠き部分にはめ込むように取付けてください。



| | | | |
|---|---|---|---|
| 接着剤全面塗布<br>(推奨：酢ビ系) | **【クロス貼り仕上の場合】**<br>切欠寸法：7×30 | **【塗り壁仕上の場合】**<br>切欠寸法：4×30 | 下地の欠き込み部分にはめ込む様に取付 |



【注意事項】幅木コーナー役物のＶカット部も接着剤を塗布してください。※塗布しないと割れ易くなります。

| | |
|---|---|
| **ポイント** | **※出荷時には、シンプル幅木の切欠き加工がされています。**<br>**高さ30㎜以上の幅木をご使用の場合は、現場で高さ方向の切り欠きを行ってください。**<br>**※厚さ７㎜を超える幅木(現場手配品)には対応しておりません。** |

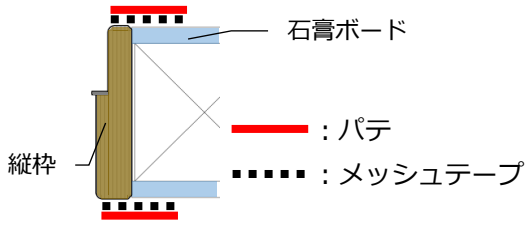
# □クロス施工時の注意点

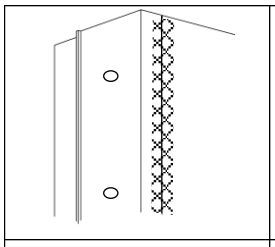


## 縦枠【袖壁納まりの場合】

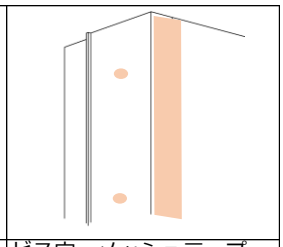
① **縦枠と石膏ボードのジョイント部**にメッシュテープを貼り、パテ等の下地処理を行ってください。

② 下地処理が完了した後でクロスを貼ってください。

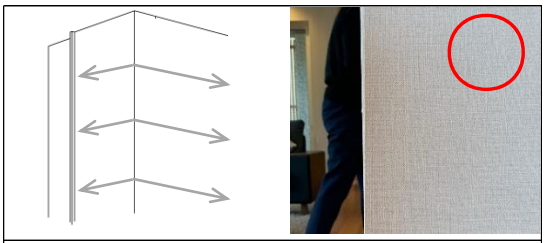


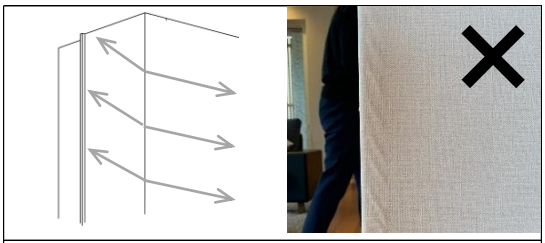
ジョイント部をまたいでメッシュテープを貼る



ビス穴、メッシュテープ部、及び縦枠の木口面全体にパテを塗る(下塗り、上塗り)



枠に巻き込む際、クロスは上下左右余裕をもったサイズでまっすぐ貼る



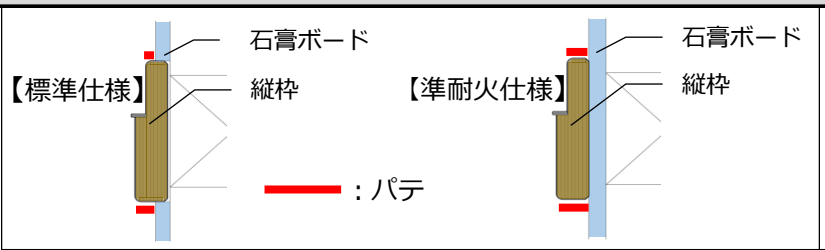
枠に巻き込む際、クロスを過度な力で斜めに引っ張りながらと貼るとクロスよれの原因となります

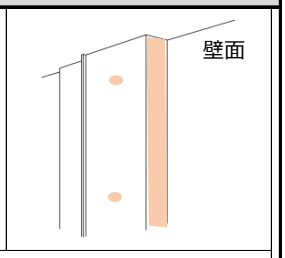
**ポイント**

**※メッシュテープ貼り→パテ下塗り→パテ上塗りを推奨します。**
**※縦枠の木口面全体にパテを塗ってください。**

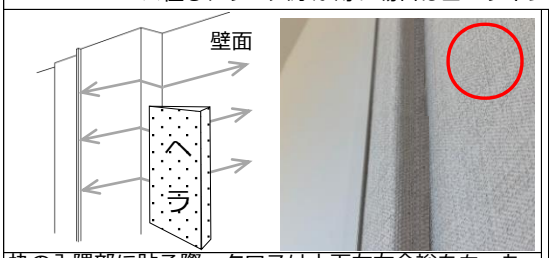
## 縦枠【入隅壁納まりの場合】

① 縦枠の入隅部は貼りづらく、クロスを貼る際にクロス面積が大きい壁面のクロスに引っ張られやすくなりますので注意が必要です。
縦枠の木口面にパテ等を塗り、クロスを貼る際は縦枠の木口面をヘラ等であてながら壁面のクロスに引っ張られないように、まっすぐ貼ってください。

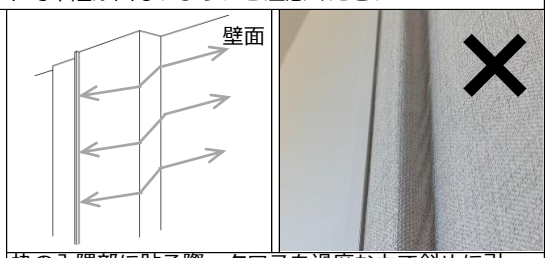



ビス穴、縦枠の木口面全体にパテを塗る
(木口面の見附寸法が小さく、パテが塗りにくい箇所はコークボンドを塗る)
※但し、クロス厚が薄い場合はコークボンドで不陸が出ないようにご注意ください




枠の入隅部に貼る際、クロスは上下左右余裕をもったサイズで木口にヘラ等をあてながら壁面のクロスに引っ張られないようにまっすぐ貼る




枠の入隅部に貼る際、クロスを過度な力で斜めに引っ張りながらと貼ると壁面のクロスに引っ張られ、クロスよれの原因となります

**ポイント**

# □クロス施工時の注意点

forステルス枠

施工手順書2024/1改訂

## 上枠

① **上枠と石膏ボードのジョイント部**にメッシュテープを貼り、パテ等の下地処理を行ってください。

※天井高納まりの場合、標準設定の【天井ボード勝ち】納まりではジョイント部が発生しませんので不要です。

上レールが取付く場合の天井クロスはレール溝に巻き込み、上レールを取付けてください。

天井高納まり

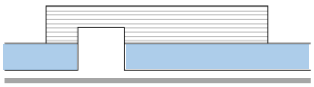
下がり壁納まり

：パテ

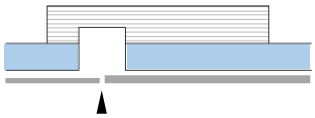
：メッシュテープ

クロスよれ等を防ぐため、
【天井ボード勝ち】納まりを標準設定としてます。

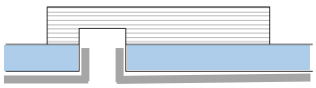
上枠と石膏ボードのジョイント部にメッシュテープを貼り、パテ等の下地処理を行ってください。



①レール溝をまたいでクロスを貼る



②溝の中央にカッターで切れ目を入れる



③クロスを溝に巻き込む

ポイント

## 

ポイント

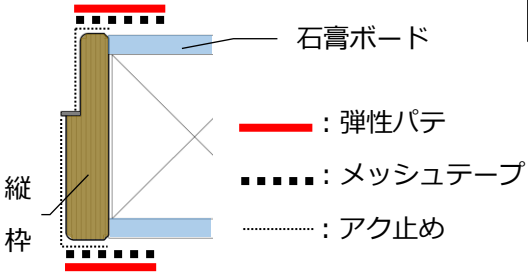
# □塗り壁施工時の注意点



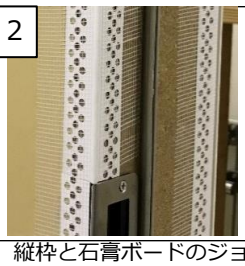
## 塗り壁の施工例：縦枠（漆喰、弾性パテを使用の施工例）

① 木工事完了後、枠にアク止め材を塗布・乾燥後、縦枠と石膏ボードのジョイント部にメッシュテープを貼ってください。
※コーナー見切材を使う場合は、メッシュテープを貼る前に取付ける。

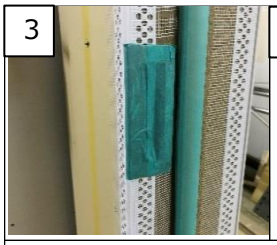
② アルミ調樹脂見切材、金物等に養生を行い、弾性パテを塗布・乾燥 → シーラー材を塗布・乾燥 → 漆喰を塗布・乾燥させてください。

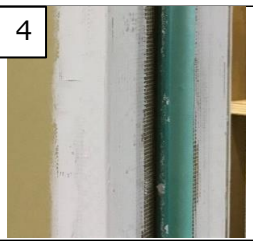



1
アク止め材塗布・乾燥
（２度塗りを推奨）

2


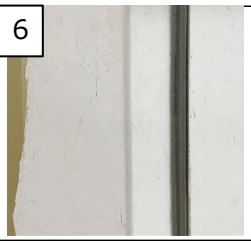
アク止め材を塗布・乾燥後、縦枠と石膏ボードのジョイント部にメッシュテープを貼る
(写真はコーナー見切材を併用の場合)

3


4


金物等を養生し、弾性パテを塗布する(一度塗り)

5
シーラー材塗布・乾燥
(一度塗り)

6


シーラー材を塗布・乾燥後、漆喰を塗る

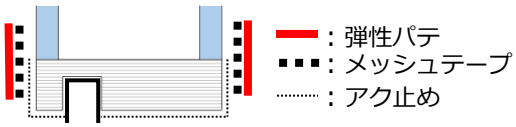
**ポイント**

**※壁仕上げ面の塗り厚は２～３mmの設定です。**
**　但し、引き戸の下部見切り縁の出寸法が2.5mmのため、はみ出さないよう注意して施工してください。【下図参照】**
**※コーナー見切材を使う場合は、コーナー見切材の端部にもメッシュテープを貼ってください。**
**※金物が取付く箇所はコーナー見切材を切り欠いて取付けてください。(ヒンジ、ラッチ受け、錠受け金物を先につける)**

## 塗り壁の施工例：その他（漆喰、弾性パテを使用の施工例）

① 下がり壁納まり、天井の仕上げ材、壁付けの金物、引き戸の下部見切材については右表をご確認ください。

下がり壁納まり

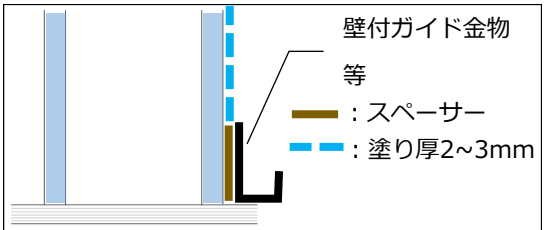



下がり壁納まりは、上図縦枠と同様の手順で施工してください。上レールは塗り壁施工前に取付てください

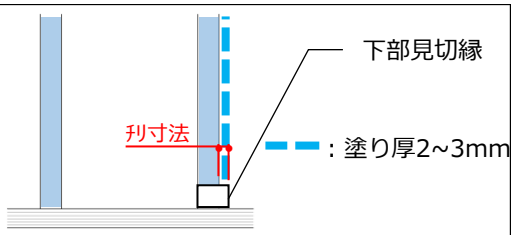
天井高納まり

**※塗り仕上げ不可**

天井高納まりの場合は、
天井の仕上げはクロス貼りとしてください




壁付の金物を取付ける場合、塗り壁の塗り厚分のスペーサー(合板等)を挟んで取付けてください




引き戸の下部見切り縁のチリ寸法が2.5mmのため、はみ出さないよう注意して施工してください

**ポイント**

**※壁仕上げ面の塗り厚は２～３mmの設定です。**
**　但し、引き戸の下部見切り縁のチリ寸法が2.5mmのため、はみ出さないよう注意して施工してください。**
**※下がり壁の上枠下端面(上レールが取付く面)の塗り厚は１.5mmの設定です。**

# 上レールの取付

上レールを取り付ける際、戸先側・戸尻側の向きに注意し、右表のとおり各開閉様式に応じた金物を上レール内部に入れ、付属ねじで上レールを固定してください。

**【注意事項】**

※上レールはプレカット、穴加工済み、「戸尻側」のシール貼り済みで納品されます。

※ソフトクローザーの誤作動の原因となりますので、上レールの取付ビスの締め過ぎやビス頭の出っ張りが無いように注意してください。

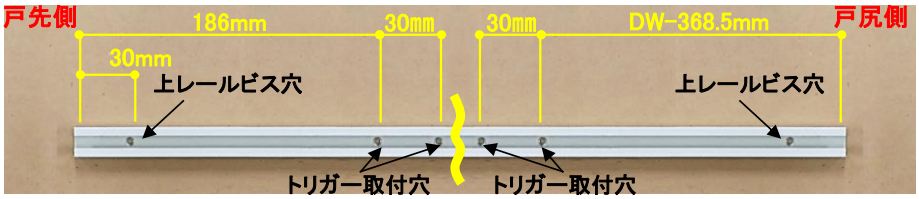
※エンドプレートがある場合は上レール端部に両面テープで仮止めし、付属ねじで固定してください。

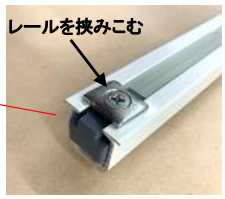
※トリガー取付穴に上レール固定ねじを取付けないでください。

※上レール内にゴミやアルミの切粉などはきれいに取り除いてください。

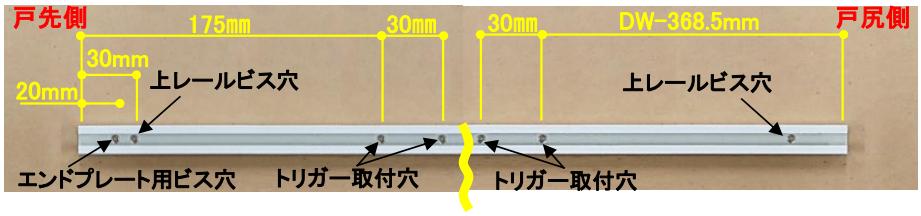
※金物が破損する原因となりますので、過度な勢いで扉の開閉を行わないでください。

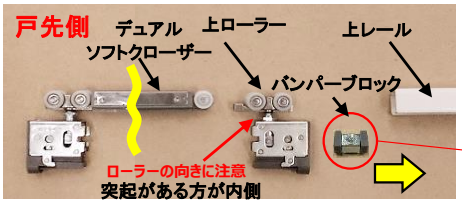
**【アウトセット片引き戸エンド枠無し】**レール長さ＝上枠下地長さ-3mm

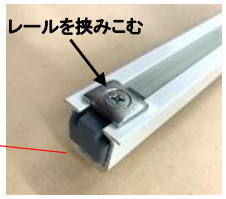


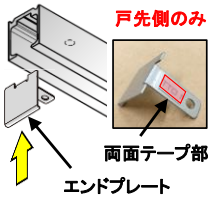



**【アウトセット片引き戸エンド枠付き】**レール長さ＝上枠下地長さ-24mm



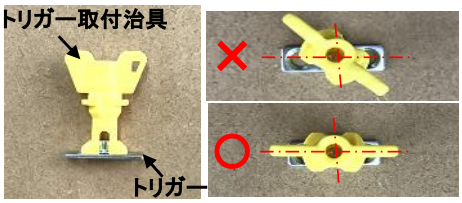



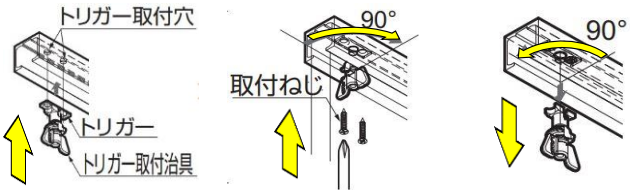



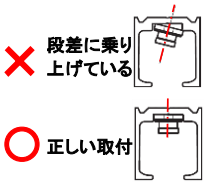




# トリガーの取付

トリガーを取付治具にセットし、トリガー取付穴に合せてください。
治具を90°回し、トリガーを付属ねじで取付けてください。取付治具は元のの向きに戻すと外れます。



## バンパーブロックの固定

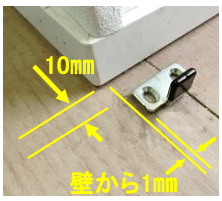
バンパーブロックが取付く場合は、グレー色のゴム部を上レール端部ぎりぎりに寄せて固定します。
バンパーブロックが取付く場合は、エンドプレートは取付きません。

## 床付けガイドの取付

右表のとおり各納まりに応じた金物を取付けます。

【注意事項】
※右表はクロス仕上げの場合の寸法を示します。塗り壁時を含め、取付寸法は邸別(開口毎)の納まり図でご確認ください。
※塗り壁時の塗り厚は2～3mmを想定してます。

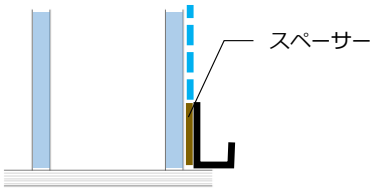
**アウトセット片引き戸(上吊)**




**床付ガイドの場合**

**壁付ガイドの場合**

**<塗り壁の場合>**




**※壁付ガイド(塗り壁仕上げ)の場合、塗り厚分のスペーサー(合板等)を挟んで取付けてください**

# 扉の吊り込み

建具下の溝をガイドに差し込みます。

ポケット戸の場合は先ず戸尻側のみ、扉上部のケーシングと上レール内の上ローラーを連結してください。
次に扉を回転させながら、扉下部の溝を床付ガイドに差し込みます。

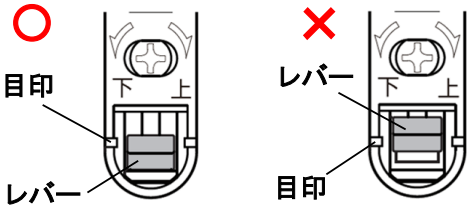
**【ガイドの場合】**

床付ガイドの場合

壁付ガイドの場合

建具を起こしていきながら、建具上部のケーシングと上レール内にある上ローラーを連結し、吊り込み完了です。

**【上ローラーの連結】**




吊り込み後に上ローラーで調整をする際は、上下調整は下側のネジ、左右調整は上側のネジにて、手動ドライバーで行ってください。

【上ローラーの調整】

【調整範囲】
上方向3.0㎜
下方向4.0㎜
左右方向±2.0㎜

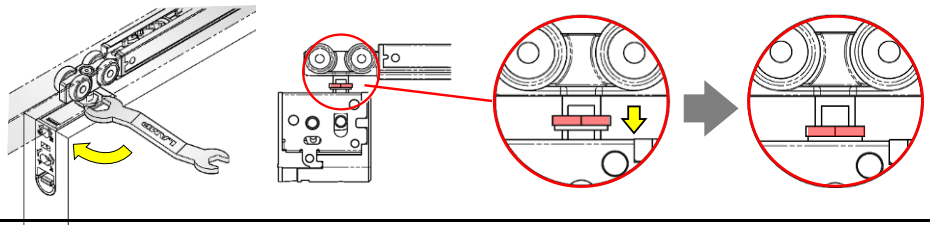
全ての調整を終えたら、化粧キャップを取付けてください。
外す場合は、化粧キャップの溝にマイナスドライバー等を差し込み外してください。

**【化粧キャップの取付】**

化粧キャップの外し方のコツ

両側のローラー吊軸の跳ね上がり防止ナットを、本体に接触するまでスパナで締めてください。

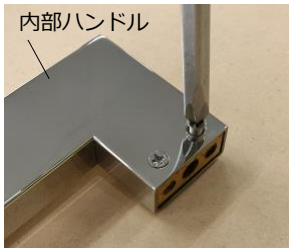
**【跳ね上り防止ナットの締付】**

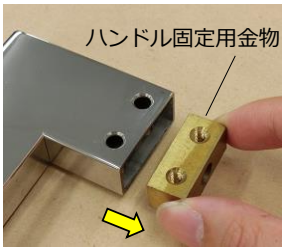


# ハンドルの取付

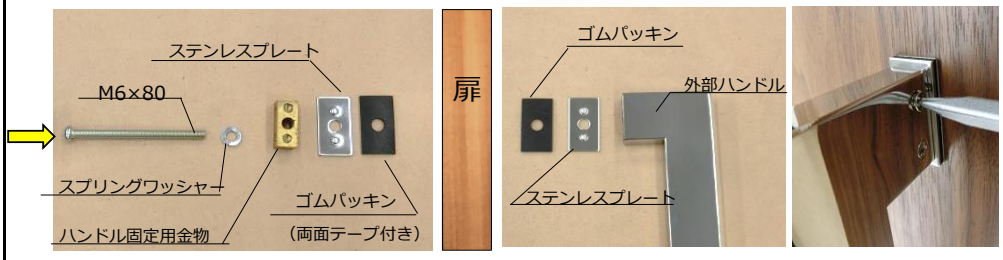
**【GC/GD/GH/GKタイプの場合】**

内部ハンドルのハンドル固定用金物を取り外してください。



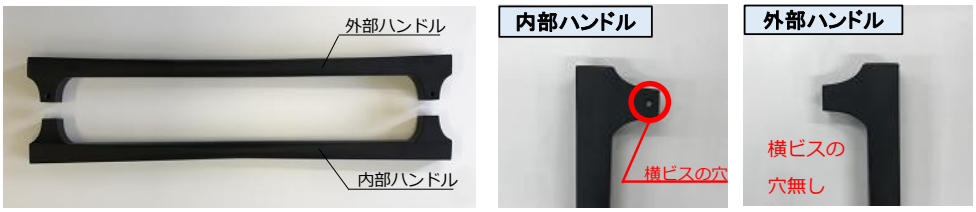




各パーツと外部ハンドルで扉を挟み、M6×80のビスで締め込んでください。
最後に、ハンドル固定用金物に内部ハンドルを差し込み、両側からビスで取付けてください。

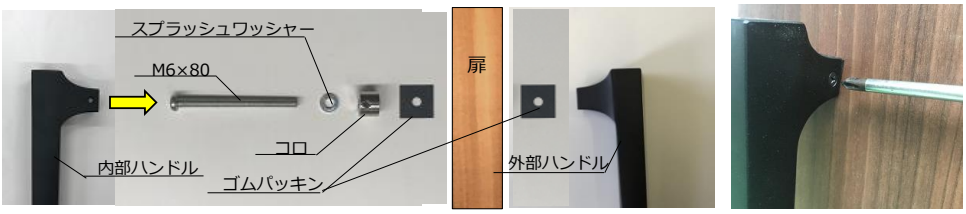



**【GEタイプの場合】**

内部ハンドルと外部ハンドルを確認します。
内部ハンドルには側面にビス穴が空いています。
外部ハンドルには側面にビス穴はありません。




各パーツと外部ハンドルで扉を挟み、M6×80のビスで締め込んでください。
最後に、ハンドル固定用金物に内部ハンドルを差し込み、両側からビスで取付けてください。




| | |
|---|---|
| ポイント | ※ハンドルは手動ドライバーで取付けてください。<br>※カエサル・アウトセット引き戸(上吊)はバーハンドルが取り付くため、扉を開けた時に引き残しが120mmできる設定です。(納まり図参照) |